機能ID	中項目	機能名称	機能要件	実装区分	要件の考え方・理由	備考	適合基準日
0360439	6.3 入金・消込処理	調定がない場合の消込（個人住民税）	個人住民税において調定情報がない場合、課税システムから収納管理システムに調定情報が連携されるまで納付を保留扱いとする、または暫定的な消込扱いとする（ただし過誤納扱いとしない）こと。 調定情報連携後、消込処理されること、または正規の消込扱いとなること。 個人住民税において調定情報がない場合、退職分離課税分の消込を行えること。 退職分離課税分の調定情報を作成できること。	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日
0360164	6.3 入金・消込処理	調定がない場合の消込（個人住民税）	保留、暫定的な消込扱いの対象者を把握できること。	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日
0360165	6.3 入金・消込処理	調定がない場合の消込（個人住民税）	個人住民税本体と退職分離課税で内訳に誤りがある場合、内訳の移動ができること。	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日
0360166	6.3 入金・消込処理	調定がない場合の消込（個人住民税）	調定を作成するタイミングについて、任意に設定できること。（収入年月日等）	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日
0360167	6.3 入金・消込処理	速報データ管理	コンビニ納付の速報データを取り込み、管理できること。取り込んだ際、仮消込処理ができること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360168	6.3 入金・消込処理	速報データ管理	共通納税の速報データを取り込み、管理できること。取り込んだ際、仮消込処理ができること。	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須 ・国民健康保険税の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日
0360169	6.3 入金・消込処理	速報データ管理	クレジットカード納付、スマートフォン納付、マルチペイメントネットワークの速報データを取り込み、管理できること。取り込んだ際、仮消込処理ができること。	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須 ・国民健康保険業務の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日
0360170	6.3 入金・消込処理	速報データ管理	速報データの集計機能を有すること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360171	6.3 入金・消込処理	速報データ管理	速報データに対する取消データが連携された場合は、速報データを削除もしくは取消データを最新の履歴として保持できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360172	6.3 入金・消込処理	消込エラー抽出処理	全ての納付チャネルについて、消込処理でエラーが発生した場合、年度・科目・期間・納付チャネルを指定して収納消込エラーのリストが出力できること。 エラー修正後、再消込処理ができること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360173	6.3 入金・消込処理	消込エラー抽出処理	エラー状態は保留状態として管理し、エラー修正または調定連動後に再消込処理ができること。保留状態のリストが出力できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360174	6.3 入金・消込処理	日計/月計表作成	収入年月日・会計年度毎に科目の収入金の集計表（日計表）の出力ができること。 日計表は、消込日当日から出力できること。また、日付を指定して出力できること。 日計表は、出納閉鎖期間中は旧年度・新年度ともに出力できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360175	6.3 入金・消込処理	日計/月計表作成	収入年月日・会計年度毎に科目の収入金の集計表（月計表）の確認ができること。 月計表は、出納閉鎖期間中は旧年度・新年度ともに出力できること。 月計表においては、滞納繰越分を年度別に出力できること。	実装必須機能			令和8年4月1日
0360176	6.3 入金・消込処理	日計/月計表作成	退職分離課税分の納付情報を集計できること。 納付受託分・充当分を区別できること。	実装必須機能	・税務業務の収納を管理する場合は必須		令和8年4月1日